

有田市立病院だより

Vol. 1 (平成23年11月)



◆有田市立病院の理念◆

良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院を目指す。

◆基本方針◆

—理念を現実化させるための私達の姿勢—

- 1 患者様の視点に立った医療を行います。
- 2 安全で確実な医療を重視しています。
- 3 医療サービスを重視し、患者様に十分な情報を提供します。
- 4 他施設との連携を密にし、効率的な医療を行います。
- 5 住民の皆様から喜んでいただくことに働きがいを感じます。

有田市立病院

649-0316 有田市宮崎町6番地

TEL.0737-82-2151 (代)

FAX.0737-82-5154

発行：有田市立病院 情報管理・広報委員会

創刊ごあいさつ



市民の皆さま、関係者の皆さまには、日頃より有田市立病院の運営に対しご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

このたび当院では、皆様への情報提供をより充実するため、「有田市立病院だより」を年4回発行する運びとなりました。この「有田市立病院だより」により、これまで以上に当院に関心を寄せていただき、当院の状況を身近に感じていただければ幸いです。

当院は、有田保健医療圏における唯一の公立病院、また、災害拠点病院としての機能、感染症患者の受け入れ施設としての機能を果たしています。

日頃より「有田市立病院の理念」に掲げているように「良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院をめざす。」を目標として、日夜、努力しているところでございます。

今後とも、患者さまに信頼される病院運営を目指してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、「有田市立病院だより」創刊のご挨拶といたします。

有田市立病院 事業管理者 谷 口 敏 章



このたび、「有田市立病院だより」が創刊の運びとなり、一言ご挨拶申し上げます。

当院は、昭和25年10月に箕島町立国保箕島病院として開設され、昭和31年5月、有田市市制施行に伴い有田市立病院となり、現在では診療科11科を標榜、病床数157を有する総合病院として、地域の皆様方に質の高い医療を提供できるよう努めているところでございます。

昨今の医師不足、看護師不足に加えて、全国的な人口減少は、有田地方も例外ではなく、「医療安全の確保と質の向上」を目指しながら「経営の効率化」を実現するのは、病院運営に携わる者として大変苦労しているところでございます。

そのような環境の中、職員一同、患者様に安心していただける医療の提供を心がけており、昨年より訪問看護ステーションを併設し、退院後のケアにも努めているところでございます。

これからの医療は、より高度で、より安全な医療を受けられるように、病院が患者様を選択するのではなく、患者様が病院を選択する時代です。

そういう意味からも今回の「有田市立病院だより」が皆様方の情報収集の一助になればと考え、創刊に至った次第でございます。

今後は、定期的（年4回の季刊誌）に本誌を発行させていただき、よりホットな情報をお届けできるよう努めて参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

有田市立病院 院長 尾 野 光 市

第1回 有田市立病院出前講座が開催されました

さる10月6日(木)午後7時30分より、初島公民館において、第1回有田市立病院出前講座が開催されました。

今回は「インフルエンザってどうやってうつるの?」と題して当院の感染認定看護師である医療安全対策室の森一美看護師長が講演を行いました。

平日の夜間にもかかわらず大勢の皆様の参加を得て「風邪とインフルエンザの違いは?」など、多くの質問をいただき、大変盛況のうちに閉会いたしました。

今後も、色々なメニューを用意して、各地区へ出かけてまいりますので、よろしくお願いいたします。



出前講座メニュー

- ・楽しくみんなで転倒予防（転倒予防体操）
- ・楽しく脳を若返りさせ night（ナイト）（頭の体操）
- ・あなたの腰を守ってあげ隊（腰痛体操）
- ・薬の正しい飲み方について
- ・薬の飲み合わせについて
- ・ジェネリック医薬品について
- ・ハンディキャップ体操（バリアフリーについて）
- ・メンタル・ケアについて（元気になる方法教えます）
- ・介護保険のしくみ（介護サービス内容や利用の仕方を紹介）
- ・医療費に困ったとき（医療保険の仕組みと医療費負担を軽くする方法）

*その他、多くのメニューをご用意いたしておりますので、医事課までご相談ください。
(内線 291・292)

看護師・助産師募集

有田市立病院では、看護師・助産師を募集しています。パート勤務OKです。
詳しくは、庶務課までお気軽にお問い合わせください。

(内線 283・296)

診療科紹介（内科）

当内科は、現在、内科医師は5名で診療にあたっています(写真)。外来は予約患者様の外来とともに初診者専用の外来を毎日設けていますので、初めて病院に来られた方でも不安なく診察を受けていただけます。初診外来では血液検査や各種レントゲンや画像検査(一部は当日出来ない検査もあります)により診断を行い、出来るだけ当日に結果を確認の上、治療を進めていけるようにしています。また、内科疾患以外の病気が明らかとなった場合には院内の各専門科への紹介し、すみやかな治療開始につなげていけるシステムとなっています。



後列左から 土屋医長、山下医師

前列左から 近藤医師、中副院長、瀬藤医師

また、糖尿病、高血圧、脂質異常や生活習慣病などの慢性疾患では、毎回の定期受診は予約システムでの対応にて出来る限り待ち時間を短縮できるよう努力しています。

さて、診療内容ですが、消化器分野では胃腸の病気、胆のう・胆管・すい臓の病気、肝臓の病気に対して診断・治療を行っています。

たとえば、次のような症状

- ①胃部不快感、胃の痛み、吐き気、食欲不振などの症状がある
- ②検診で胃の異常を指摘された、すい臓や胆管・肝臓の値が高いと言われた
- ③下痢が続く、血便が出るなどの症状がある
- ④食べた後にお腹や背中が痛くなる
- ⑤腹痛と発熱が続く

などで受診いただくことが多いと思われます。病状によっては緊急を要する場合もあるため各種の検査結果を出来るだけ即日にご報告できるよう努力しています。

一方、年々患者数の増加が著しい糖尿病に対しては、地域の医療機関との連携が重要と考え、当院に紹介され受診された血糖の高くなった方は血糖コントロール目的にて食事療法の指導などを受けていただきます。これで血糖が改善しない方は教育入院を行ない、食事、運動療法の理解、実践を図りますが、場合によっては経口血糖降下剤を増量したり、インスリン注射を開始したりします。また同時に糖尿病の合併症（腎障害、神経障害、網膜症等）の検査を行い、異常が見つかった場合にはそれぞれの専門の科での治療を受けていただいています。

また、内分泌疾患といえば珍しい病気を想像しますが、なんとなく体調がすぐれないなどの原因としてホルモン異常が見つかることがあります。特に甲状腺疾患は比較的多くみられる病気であり、機能亢進症（バセドウ病）、機能低下症（橋本病）にたいして確かな診断ののち、治療を行っています。

今後とも、有田市立病院内科をよろしくお願いいたします。

みなさん『おくすり手帳』って知っていますか？ 『おくすり手帳』を使っていますか？

今回は「おくすり手帳」について、ご存じのない方、既に使っている方にも正しく使って頂きたいので、どのような手帳なのか、どのようにして使えば良いのかをご紹介しますと思います。

「おくすり手帳」とは、今まで服用したり、使用したお薬の名前や飲む量、過去に経験した副作用などを記録するための手帳のことです。



★「おくすり手帳」は次のような便利な役割を持っています。

- 他の病院・診療所(医院・歯科医院)にかかった時、「おくすり手帳」を医師、歯科医師に見せることで薬の重複や飲み合わせの悪い薬などを避けることができます。
- 外出時に急に体調が悪くなった時や、事故にあった時、また地震や津波などの災害に遭った時など、この「おくすり手帳」を携帯していることで、服用している薬の内容がわかり、医療機関による救急救命処置や診察、入院した時の治療などが円滑に行いやすくなります。
- 「おくすり手帳」の記録をもとに、医師、歯科医師、薬剤師の連絡が円滑に進みます。

「おくすり手帳」
いろいろなデザイン
があります

★「おくすり手帳」はどのようにして使うのでしょうか。

●「おくすり手帳」は、1人1冊あれば良いのです。

どこで診てもらっても、どこでお薬をもらっても、同じ「おくすり手帳」を使用することで、その力を発揮します。ときどき複数の医療機関、薬局ごとに何冊もお持ちの患者さまが居られますが、それでは、「おくすり手帳」の力が発揮出来ません。みんなで1冊の「おくすり手帳」を共有しないと意味がないです。

- 病院・診療所(医院・歯科医院)、薬局へ行った時、**毎回必ず医師・歯科医師・薬剤師に見せましょう。**
- 薬をもらった時は、**必ず記入してもらいましょう。**

(シールや紙を貼ってくれる医療機関や調剤薬局もあります)

- 薬局・薬店などでお薬(市販薬)や健康食品などを買った時にも、そのお薬の名前を自分で記入しておくようにしましょう。また、既往歴(過去にかかった事のある病気)、過去にアレルギーや副作用を起こしたお薬や食べ物も記入しておくことをお勧めします。
- 通院時、外出時には必ず持ち歩きましょう。** いざという時に、たいへん頼りになる手帳ですよ。
- 「おくすり手帳」は、お薬を院内でもらう病院・診療所(医院・歯科医院)、かかりつけ薬局で相談すれば手に入れることができます。また、当院に入院した時に、まだ「おくすり手帳」をお持ちでない患者さまには、退院時にお薬と一緒に渡すことも可能です。お気軽に薬剤師に相談して下さい。

どうですか？ みなさま「おくすり手帳」のこと理解していただけただけでしょうか？

まだ、持っていない方は、ぜひ「おくすり手帳」を自分のために・・・。

薬局 (内線 250・251)

通院するのが難しい
退院後の生活が不安



自宅での生活に
不自由を感じている

あなたのご自宅で、介護保険の リハビリが受けられます！

平成 23 年 9 月より、当院において訪問リハビリテーションがはじまりました。
通院が困難な方に対してリハビリテーションの専門職(理学療法士)がご自宅に訪問し、住み慣れた環境の中でリハビリを行うことができます。実際の生活の場で出来る訓練法や介護の仕方、環境整備などを患者様の症状・家屋構造・介護力などを考慮しながら実施させていただきます。

サービスその①

身体機能の維持・回復と寝たきりの予防

サービスその②

トイレ、入浴動作などの生活動作練習

サービスその③

ポータブルトイレ、歩行器などの福祉用具の選定
手すりの設置、段差解消などの住宅改修の提案



ご利用にあたって

介護保険の認定を受けている方で、当院医師が必要と認めた方が対象となります。

<営業日・営業時間>

営業日：月曜～金曜日

営業時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分まで

休日：土・日曜日、祝祭日、年末 12 月 28 日～年始 1 月 3 日



<利用料金>

1 回につき 622 円～962 円（自己負担額） 1 回の訪問時間は約 40 分程度です。

<お問い合わせ>

有田市立病院 リハビリテーション室まで

(内線 170)

糖尿病ひろば

糖尿病人口の増加はとどまることを知らず、糖尿病とともに生きる人の数は 2011 年には世界で 3 億 6600 万人に増加したと言われています。日本でもこの 10 年で約 700 万人から 900 万人に増加し、予備軍も含めると成人の 5 人に 1 人は糖尿病の疑いがあると言われています。豊かな食生活と運動不足が影響しているとされていますが、当院でも糖尿病を含めた生活習慣病で受診される方も年々増加し、ますます重要になってきています。このコーナーでは、これから糖尿病に関する話題などを取り上げ紹介していきたいと思えます。

「自分が糖尿病かどうか、どうしたらわかるのか？」

糖尿病は血糖値が高くても自覚症状のない病気であり、よほど放置してだるさ、のどの渇き、やせてくるなどの症状が出ることにはすでに合併症が進んでいることもあります。病名に「尿」とついていますが、実際は血液検査で調べる血糖値で糖尿病の診断がされていますので健康診断などで血糖が高いと指摘されたとき、きちんと再検査をしておくことが必要です。以前は診断にブドウ糖を溶かした液体を飲む「ブドウ糖負試験」という時間のかかる検査が行われていましたが、昨年からは診断基準が新しくなり、血糖値とHbA1c(ヘムoglobin A1c: 過去 1-2 ヶ月の平均血糖値を推測できる)で診断が可能となり、一回の血液検査ですぐれも高い場合には糖尿病と診断されることとなりました。これにより糖尿病発症の早期発見が増えると期待されています。健康診断で「少し血糖値が高い」「糖尿病の疑い」など言われている方は、一度病院で確認してみたいはいかがでしょうか。その日に結果が出ますので、本当に自分が糖尿病になっているかどうかははっきり知ることができます。

有田糖尿病友の会 「橘徒会 (きつとかい)」とは？

正しい療養を続けるためには糖尿病について正しい知識をもってもらい、また、仲間(会員)どうし生活の知恵・養生のコツなどを意見交換していただく場があります。橘徒会命名の由来は有田特産の「橘」と、鮎漁の徒歩(かち)漁の「徒」を合体させたものです。

橘徒会では

- ① 年に一度のお散歩の会 ※お弁当付き
- ② 3ヶ月ごとの座談会 ※お茶・おやつ付き
(先生のお話し+仲間との楽しいおしゃべり)

仲間は多い方が楽しいし、また、いろんな意見情報が得られます。どうか多くの方々の参加お待ちしております。

「きながに きらくに つれもていこら ともだちのひろば」
※ハイキングは非会員の方も参加オーケーです、待ってます！！
(お弁当代、保険代は各自ご負担願います。)

連絡先 橘徒会事務局(有田市立病院 検査室: 内線 150)





外 来 診 察 表



平成23年10月1日より

診 療 科		月	火	水	木	金
内科	1診 初診・再診	中	山下	土屋	瀬藤	近藤
	2診 予約診	近藤	土屋	山下	近藤	土屋
	3診 生活習慣病外来 予約診	瀬藤	中			中
循環器科	4診 初診・再診	笠松	坊岡	笠松	坊岡	太田
	5診 予約診	坊岡	笠松	坊岡	笠松	野尻
	6診 予約診	野尻		野尻		
脳神経科						北山
外科	1診	植村	椿原	尾野	椿原	尾野
	2診					植村
整形外科	1診	栗本	平	栗本	平	栗本
	2診(予約診)			平		
産婦人科		藤永	今井	藤永	藤永	今井
小児科	午前	紀平	南	田村	紀平	垣本
	午後 (予約診)	発達相談 外来	1ヶ月健診 紀平 (※1)	心身症外来 (第2週)	心外来 (第3週)	遺伝外来 月野
		紀平	予防接種 紀平 (※2)	大石	紀平・平山	予約外来 紀平
(※1)1ヶ月健診は第1・3・5週 (※2)予防接種は第2・4週						
眼科	午前	南出	南出	南出	岡田	南出
	午後					コンタクト外来 (第2・4週)
耳鼻咽喉科	1診	矢田	矢田	矢田	田村	矢田
	2診	戸川				杉田/河野
泌尿器科	1診	宮井	渡辺	宮井	渡辺	宮井
	2診					渡辺
皮膚科		吉益	吉益	岡本/下松	吉益	上中



★ 診察の受付時間は8:00～11:30です。★

■ この診察表は23年10月1日現在のものです。異動により、診察医が交代する場合がございますので、ご了承ください。また、交代がありましたら、その都度各外来・広報等でお知らせさせていただきます。